

五所川原小学校学校経営方針

教育目標 「思いやりのある子 進んで学習する子 健康でたくましい子」



校章（明治42年）

校訓 「誠のことば」 校章の六花片(雪)に校訓として制定した6徳目を配置（大正元年）

- | | |
|------------------|-----------------|
| きまりを守って（規律） | 一生懸命につとめ（勤勉） |
| 物を大切にし無駄をなくし（儉約） | 正しいことは進んでやり（勇気） |
| いつでも礼儀を忘れずに（礼儀） | みんなと仲良く助け合い（親切） |
| | 明るい世界を作りましょう |

基本方針

- 確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の調和のとれた人間の育成（健康な英才主義）
- 一人一人が郷土に誇りをもつとともに、多様性を尊重するの人間の育成（平等主義）
- 創造力豊かで、新しい時代を主体的に切り拓いていける人間の育成（楽観主義）
- 国際社会の平和と発展や環境の保全に貢献し未来を拓く人間の育成（平和主義）
- 児童・保護者・地域・教職員にとって愛すべき学校と思える信頼される学校づくり（郷土主義）

めざす教職員像

- 進取の気性に富み、改善と創意工夫の英知と情熱をもって取り組む教職員
- 児童と教師、家庭と教師、児童同士の信頼と協調を重んずる教職員
- 授業改善を重んじ、「主体的、対話的で深い学び」を目指し学び続ける教職員
- 教頭を中心に報告・連絡・相談・確認・記録を徹底し真剣に取り組む教職員
- 児童の安心・安全な生活に敏感で、情報を共有し協働指導体制に努める教職員

スローガン 「夢に向かって挑戦し 未来に輝く五小の子」

合言葉 「じぶんも輝き、みんなも輝く 五小の子 ～ じぶんもよく、みんなもよく ～」

努力目標（目指す子どもの姿）と重点実践事項



「知」よく聴き考え、進んで表現する子

- 「主体的、対話的で深い学び」の中で根気強く学ぶ姿勢の向上
- 相手を尊重し根拠をもとに表現する力の育成
- 発達段階に応じた家庭学習の習慣化と読書活動の充実
- 基礎・基本の習得と学習規律の定着



「徳」きまりを守り、自他を大切にする子

- 貢献感や自己有用感を醸成するコミュニケーション能力の向上
- いじめの未然防止・早期発見に向けた意識の向上
- 道徳の時間を中心とした、適切な判断力や自律、思いやりの醸成
- 夢をもち、心身ともに健康で朗らかな子どもの育成



「体」めあてをもち、健康で安全な生活をする子

- 基本的な生活習慣の確立に向けた意識の向上と、家庭・地域との連携・協力
- 自他の健康と安全のためにルールやマナーを尊重する態度の育成
- 体育科の時間を中心とした、体を動かす楽しさや運動意欲の醸成

各教科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間及び学級活動等の指導の工夫について

- 児童の実態や学年段階を考慮し、算数を中心としながら、それ以外の教科においても可能な限りTTや少人数制を取り入れ、児童一人一人の学習内容の確実な定着のために指導方法の工夫・改善に努める。また、教職員の共通理解のもと、特別支援教育の充実及び別室登校児童への特別な教育的支援に努める。
- 児童の実態や学年段階および各教員の特徴を考慮し、各学年内や各ブロック内において、できる限り教科担任制を取り入れる。児童一人一人の学習内容の効果的、効率的な指導と評価、授業の改善に努める。
- 児童の多様性に対応し、児童が多様な大人を知り、複数人の相談相手となる大人とつながることができるようチーム学担任制を推進する。児童の実態や学年段階および各教員の特徴を考慮しつつ、朝の会や給食、道徳、学活、帰りの会等を含めて連携する。